令和４年２月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和４年１月１７日（月）
２．開 催 日 時　令和４年２月　１日（水）　１３時３０分～１５時０５分
３．開 催 場 所　理事全員の同意により Web 会議システムにより開催
４．理 事 総 数　２４人
５．監 事 総 数　２人
６．出席理事数　１９人（Web 会議システムによる出席１９人）
７．出席監事数　２人（Web 会議システムによる出席　２人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、曽根 光彰、南　直樹、安室 篤志、山田　毅、伊藤 雄平、宗村 進之介、上島　健、秋山 正稔、原田 政吾、田村 大輔、富居 博治、高橋　明、横山 聡洋、竹内 博次、金子 典生、平井 英次、藤田 亮則、川村 道夫

９．出席監事の氏名

川崎一郎、秦　研二

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　組合員及び賛助会員の脱退について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、組合員の株式会社ミクロ札幌と賛助会員の株式会社木村鋳造所から今年度末での脱退の届出があったことの報告があり、今年度末での組合員数７８社、賛助会員数４５社、計１２３社になる見込みであることの説明があった。

株式会社ミクロ札幌　代表取締役　笹井 康直（平成 27 年 1 月 1 日加入）
株式会社木村鋳造所　代表取締役　木村 寿利（平成 27 年 6 月 1 日加入）

嶋崎議長から、経済状況が不安定になると脱退企業が出てくることを考えると新規加入を増やしたいが、加入しているメリットを享受できるようにすることが必要であると述べられた。

嶋崎議長は、組合員の脱退について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　創立５０周年記念事業について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、１月２６日に開催された第３回実行委員会議事録に基づき、進捗状況について報告があった。

①表彰小委員会：外部表彰関係の候補者のリストアップについて２月７日の委員会で検討し、４月の理事会で報告できるように進めることになっていること。

②記念誌・記念品小委員会：記念誌については、４０周年記念誌の構成を踏襲して写真データの確認を行う予定。記念品については、候補の品物を見直しすることになり、２月７日に委員会開催予定。

③式典・講演小委員会：当初理事会開催予定だった１月２０日に正副理事長で会場の帝国ホテルの内覧と担当者との打ち合わせを行う予定だったが、コロナの影響で延期になった為、進んでいないことの報告と早急に委員会の開催について日程調整を行うことになっていることの説明があった。

曽根副理事長から、４月の理事会で各小委員会が承認を得る予定で進めていることの説明があった。特に表彰小委員会は、外部表彰の申請時期の関係があるので、目途としていることと予算案については、コロナの現況を考慮すると予定通り行う場合や式典のみの開催など数パターンを検討したいと述べられた。

嶋崎議長から、コロナの影響で予定通り進められていないが、臨機応変に進めて行くしかないと考えていることと祝賀会まで行えるように準備万端にしたいこと旨、述べられた。

嶋崎議長は､創立５０周年記念事業について議場に諮ったところ､全員異議なく承認された。

第３号議案　令和４年度事業計画案ならびに組合スケジュールについて

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和４年度事業計画案について説明があった。主な内容は次に通り

・第５１回通常総会は、５月２５日（水）予定。

・理事会は年６回開催予定。

・創立５０周年記念式典に関する事業など。

嶋崎議長から、人材を確保して育成して行く必要があるので、人材開発支援助成金の活用について組合として支援するとか初級熱処理塾の開催を希望する地区があれば検討するなど前向きに取り組んで行きたいと述べられた。

続いて東京工業大学の製造中核人材育成講座「金属熱処理スーパーマースター」が２年目のカリキュラムになり、一年後には次回の募集が行われるので、今から受講生について準備をしてほしいと述べられた。

嶋崎議長は、令和４年度事業計画案ならびに組合スケジュールについて議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、昨年１２月２１日に開催された正副部会長会議について、今年度に引き続き①講演会・セミナーの開催、②関東経済産業局との連携、③熱処理業界のPR、④メンバーからの提案の４つの柱とすることの説明があった。

①カーボンニュートラルのセミナーを柱として、賛助会員のPRの場を設けることを考え、カーボンニュートラルに関するテーマで自社の技術動向を講義いただくこととEV自働車動向の情報（海外、日本）を加える。②現場の生の声を伝えることと工場視察など現場を見てもらう。③島根県の「和鋼博物館」を訪ねるとか島根県庁に協力をお願いすることや西

部組合で行っている出前講座を参考にするなど。

田村部会長から、今年度はEV化の動向について行ったが、ここ２年ぐらいの間に省エネ法の改正などが生じて来ることが考えられるので、カーボンニュートラルに注力して行きたいことの説明があり、賛助会員企業のPRの場も含めて技術動向について情報提供をお願いしたいことと機会があれば島根県に行き、熱処理業界のPRについても進めて行きたいと考えていると述べられた。

横山副部会長から、カーボンニュートラルについては、技術委員会でも取り上げる予定なので、青年部会と内容が重複しないように進めたいと説明があった。

山田副部会長から、中国のEV事情について情報が得られることと島根県庁とやり取りしていることと鉄に関わりのあることを今の時代（アニメ）と絡めてPR出来ればと考えていることの説明があった。

嶋崎議長から、島根県とのPRの展開方法について質問があり、山田副部会長から子供達に熱処理に興味を持ってもらうためには、アニメ「鬼滅の刃」から「刀」を取り上げて、鉄の素晴らしさを知ってもらい将来の人材確保に結び付けたいと考えていると説明があった。

嶋崎議長から、業界の将来を考えた具体的かつ柔軟な活動を進めて行って欲しいと述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、青年部会活動状況について全員異議なく承認された。

第５号議案　各委員会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、１月１２日開催の技術・品質合同委員会について議事録に基づき説明があった。

主な内容については、

①第５回品質活動発表会について

今月２２日（火）にオンライン型で開催することと発表企業（藤田熱処理㈱、第一高周波工業㈱、多摩冶金㈱、東京都立産業技術センター）について説明があり、参加の案内があった。

②令和４年度の計画について

・初級熱処理塾：令和４年４月１１日（月）から２２日（金）、ハイブリッド型、受講申込受付中。新講師に多摩冶金㈱の後藤氏。
・中級熱処理塾：６月１８日（土）、ハイブリッド型
・技能検定試験受験対策講習会：７月の土日２日間で調整中、ハイブリッド型
・実践型熱処理塾：１０月の土１日間、不具合事例に加えてカーボンニュートラルに関する技術的なテーマの追加を検討。
・ISO 内部監査員養成研修会：９月または１０月に金土の２日間、組合員のニーズを確認しながら計画をする。
・ガス燃焼技術基礎研修会：東京ガス㈱に協力をお願いし、計画をする。
・品質活動発表会：品質規格や保証に関するセミナーの企画など内容を検討する。

③委員会の開催日程について

・委員会は、年５回開催予定。９月に東京都立産業技術センターと業種別交流会の開催、１１月の工場見学会については、状況を見ながら７月に判断する。

④その他

・ZOOM のブレイクアウトルーム機能を利用して初級熱処理塾の参加者のコミュニケーションを取ることを考える。

横山技術委員長から、金属熱処理技能検定試験について１級の実技試験で使用する硬さ試験機については、賛助会員のフューチュアテック㈱に協力をお願いすることと実践型熱処理塾では、カーボンニュートラルに関して水素バーナーやアンモニアバーナーなど技術的なことを取り上げたいと考えていると説明があった。

藤田品質委員長から、ISO 内部監査員養成研修会やガス燃焼技術基礎研修会については、参加組合員が少し偏っているように感じるので、ニーズを整理して必要と思えるものを提供できるようにしたいと考えていると説明があった。

南副理事長から、委員会の活動を YouTube で配信したら、組合の活動を少しでも知ってもらって新規組合員及び賛助会員の獲得に結び付くのではないかと意見があった。

嶋崎議長から、能動的な意見については具現化した提案を行い、理事会で検討して予算化することで進めて行くことが必要だと考えていると述べられた。

続いて安室専務理事から、１月１７日開催の BCP 推進 WG について議事録に基づき説明があった。

主な内容については、

①新規参画メンバーについて

・１１月に連携企業募集のチラシを配布し、１０社の企業が加わり２１社になった。

②今後の活動について

・２１社のメンバーで初動対応や安否確認などの連携事業についての実績を積み上げることで参画企業を増やして行くことになる。

嶋崎議長から、新たに参画した組合員企業には、より組合活動に参画して欲しいことと今後広域連携を推進して行きたいと述べられた。

安室専務理事から、年度末に向けての委員会等の活動予定について説明があった。

嶋崎議長は、各委員会の活動状況について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第６号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から資料に基づき令和３年１２月の賛助会員の異動について報告があった。

続いて一般社団法人日本熱処理工業会の「金属熱処理業あんしん保険」について資料に基づき説明があった。

嶋崎議長から、「金属熱処理業あんしん保険」の制度設計の変更について一般社団法人日本金属熱処理工業会と保険会社と検討して来たことの報告があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和４年２月１日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　　嶋崎 利行　　㊞

出席理事　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　山田　毅　㊞

〃　伊藤 雄平　㊞

〃　宗村 進之介　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　原田 政吾　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　富居 博治　㊞

〃　高橋　明　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　金子 典生　㊞

〃　平井 英次　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　川村 道夫　㊞

出席監事　川崎 一郎　㊞

〃　秦　研二　㊞